

# 授業科目 身体障害作業療法学Ⅰ

【担当教員名】 濱口豊太	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G I O】  
作業療法の対象となる身体障害者の心身機能・身体構造・活動制限・参加制約を理解し、その治療理論及び治療・支援技術の概要を学ぶ。

【行動目標：S B O】

1. 身体障害作業療法の守備範囲について説明できる。
2. 心身機能および身体構造に関する基本的障害について説明できる。
3. 身体障害に関して国際障害分類（I C F）が適用できる。
4. 中枢神経疾患と末梢神経疾患の障害像の違いが説明できる。
5. 代表的疾患に関する作業療法の概要を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	身体障害作業療法概説（対象疾患と障害の特徴、治療対象となる障害）	1	講義、演口、Quiz1
2	中枢神経疾患の運動と知覚機能：異常筋緊張、連合反応、共同運動、姿勢反応、平衡反応、異	2	講義、演口
3	中枢神経疾患：運動・知覚機能回復	3	講義、演口、Quiz2
4	中枢神経疾患：運動・知覚機能代償	4	講義、演口
5	脳血管障害：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	講義、演口
6	外傷性脳損傷：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	講義、演口
7	脊髄損傷の運動・知覚機能	5	講義、演口、Quiz3
8	脊髄損傷：運動・知覚機能回復	5	講義、演口
9	脊髄損傷：運動・知覚機能代償	5	講義、演口
10	脊髄損傷：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	講義、演口
11	手の外科：機能再建・代償（評価）	5	講義、大山
12	手の外科：機能再建・代償（治療）	5	講義、大山
13	末梢神経損傷：機能再建・代償	5	講義、大山
14	慢性関節リウマチ：機能再建・代償	5	講義、大山

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	目でみるリハビリテーション医学第2版、上田 敏、東京大学出版会			1994、3800円
参考書	①作業一その治療的应用	日本作業療法士協会、	協同医書出版社、	1985、8500円
	②作業治療学Ⅰ 身体障害	日本作業療法士協会	協同医書出版	1999、3500円
その他の資料	配布資料			
【評価方法】 出席点：10％ Quiz：30％ 期末試験：60％	【履修上の留意点】			